

医薬品包装セミナー

～サステナブルな医薬品包装のあり方を考える～

日時 令和7年3月7日(金)

【医薬品包装セミナーの参加申し込み方法について】

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoom を利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

主催：  公益社団法人日本包装技術協会

プログラム

時間	講演内容	講師
13:00～13:50	<p>■ケミカルリサイクル技術の課題と展望</p> <p>ケミカルリサイクルは化石原料からの原料転換手法として注目されているが、導入にむけてはカーボンニュートラル化に向けたアプローチとして本技術の利点と制約条件を正しく理解する必要がある。</p> <p>本講演では代表的なケミカルリサイクル技術を紹介するとともに、マテリアルリサイクル・サマールリカバリーとの違い、ケミカルリサイクルを導入するにあたって考慮すべき事項を整理する。</p>	<p>日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創ユニット ケミカルリサイクルチーム・ プログラムマネージャー</p> <p>島村 卓宏氏</p>
14:00～14:50	<p>■環境に優しいPTP包装技術の取組みについて</p> <p>PTP包装は社会の健康・福祉を支える役割から多岐にわたる機能が求められ、プラスチックとの共存を前提とした持続可能な社会の構築が重要です。</p> <p>本講演では、日本国内で推進されているプラスチック資源循環戦略に基づき、PTP包装の最新技術としてバイオマスフィルムの活用、モノマテリアル化によるリサイクル性の向上、包装工程での廃プラスチック削減といった環境負荷低減に向けた新たな取り組みをご紹介します。</p> <p>これらの技術を通じ、プラスチックと調和した持続可能なPTP包装の未来について一緒に考える機会を共有します。</p>	<p>CKD株式会社 自動機械事業本部 技術統括部 包装技術部 第1G グループリーダー</p> <p>河田 陽介氏</p>
15:00～16:30	<p>■人間工学で包装設計に目標と評価を!</p> <p>ユーザーが包装をうまく使えるかどうかは、包装のデザイン単独で考えることはできない。ヒトがどのように包装から情報を受容し、どのように操作方法を認識し、どのように筋骨格運動を起こして使うのか、という人間側の考察が欠かせない。人間工学では、包装と人間を一体化したシステムとしてみなし、そのシステムのパフォーマンスが高まるように目標を定める。</p> <p>目標に沿って作られたものは、人間の特性にとって合理的かどうかという視点で評価される。本講演では人間そのものの特性と、筋電図などの客観的な評価方法、そしていくつかの事例を紹介したい。</p>	<p>国立大学法人千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート・ 教授</p> <p>下村 義弘氏</p>

講師のご紹介

■ 島村 卓宏(シマムラ タカヒロ)氏

日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創ユニット ケミカルリサイクルチーム・プログラスマネージャー

ご略歴

2003年日揮(株)(現日揮グローバル(株))入社ガスケミカルプロセス部所属
以後20年近くガス・LNGプラントの基本設計、建設管理、試運転、運転支援等を担当、
2021年より日揮ホールディングス(株) サステナビリティ協創ユニットに異動し、現職に従事

■ 河田 陽介(カワダ ヨウスケ)氏

CKD株式会社 自動機械事業本部 技術統括部 包装技術部 第1G グループリーダー

ご略歴

2007年 CKD株式会社に技術職として入社
2022年 営業職へ転換し、市場調査およびマーケティング活動を通じて市場理解を深める
2023年 開発職GLとして市場ニーズに基づく環境対応製品の開発を推進

■ 下村 義弘(シモムラ ヨシヒロ)氏

国立大学法人千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート・教授

ご略歴

2000年 千葉大学大学院自然科学研究科博士(工学)、2015年 千葉大学教授。千葉大学フロンティア医工学センター兼務。
一般社団法人日本人間工学会理事・第64回大会長、一般社団法人日本生理人類学会理事・第75回大会長。
一般社団法人日本内視鏡外科学会、一般社団法人日本口腔衛生学会、バイオメカニズム学会、看護理工学会等に所属。

医薬品包装セミナー企画委員

※本催しは各企業から推薦された企画委員によりプログラムを編成しております

- 溝呂木太郎 委員 全薬工業(株) OTC開発部 包装企画課 課長
- 堤 正一 委員 岡田紙業(株) 営業部 部長
- 濱島 利彦 委員 ゼリア新薬工業(株) 生産技術部 課長
- 小澤 哲也 委員 第一三共プロファーマ(株) 平塚工場 第三製造部 製造第一課 課長
- 高森 寛子 委員 大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター プロダクト開発本部
プロダクト開発第1部 第2グループ リーダー
- 廣島 真一 委員 (株)カナエ 包装技術開発センター 包装技術開発部 包装技術3グループ マネジャー
- 鈴木 潤 委員 ZACROS(株) 製品開発部 樹脂機能開発グループリーダー
- 舟越 由香 委員 中外製薬(株) 製薬技術本部 製剤研究部 企画・包装グループ

開催要領

■ 日時：令和7年3月7日(金) 13:00~16:30

※Zoomを利用したオンラインセミナーです。

■ 参加費：

1名分参加費	会 員	一 般
本 体	9,000円	20,000円
消費税10%	900円	2,000円
税込み合計	9,900円	22,000円

■ 定 員：100名

■ 参加申し込み方法と注意事項

【参加申込方法】

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの医薬品包装セミナー参加申込ページよりご登録下さい。
当会ホームページURL：<https://www.jpi.or.jp/>
- 参加申込者には参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

【個人情報の取り扱いについて】 1. 個人情報は「2024年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。 2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

■ お問い合わせ先 ■

公益社団法人日本包装技術協会 医薬品包装セミナー係 担当：佐藤

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03 (3543) 1189 FAX.03 (3543) 8970 e-mail : satou@jpi.or.jp